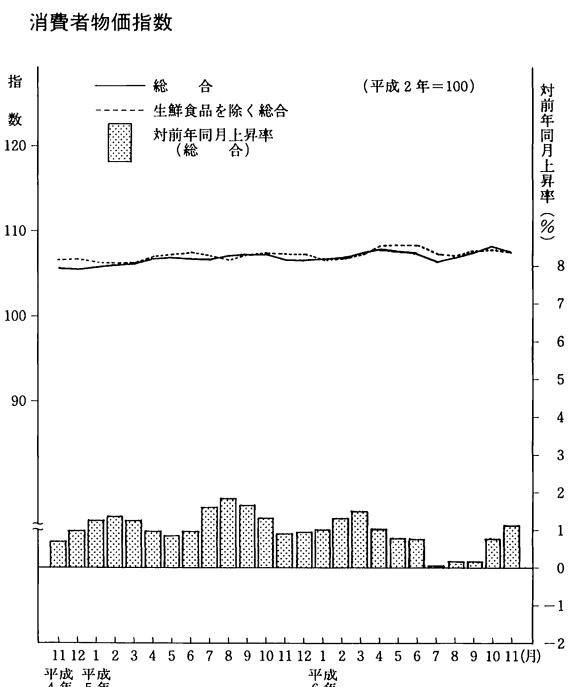
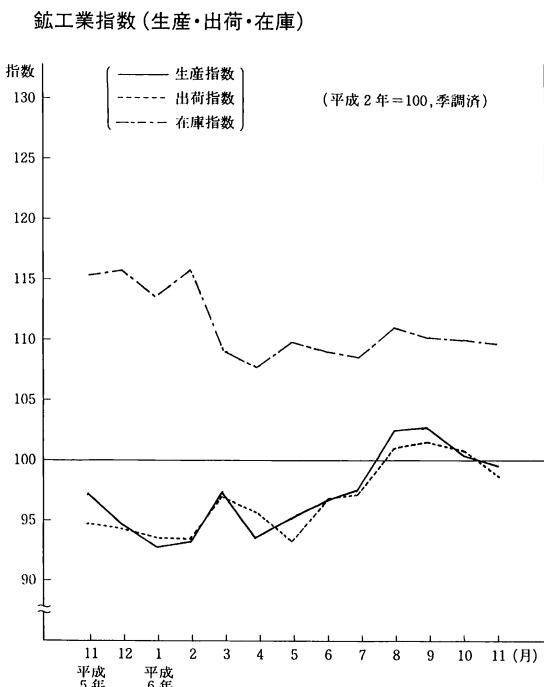
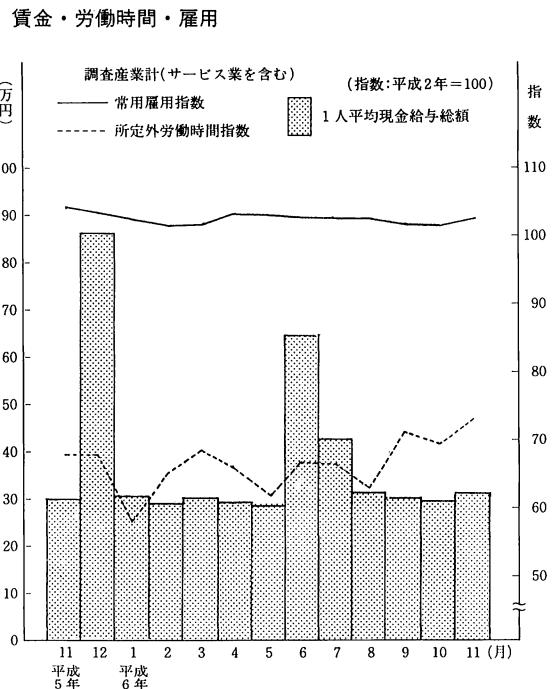
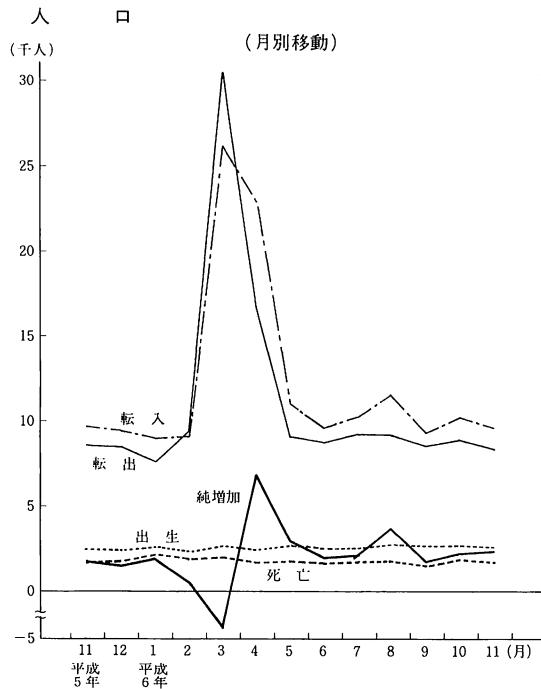


●今月の主な動き

今月の主な動き



今月の主な動き●

主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人 口(12月1日)

本県の人口は、11月中に2,173人増加し、12月1日現在で、2,953,311人(男1,476,652人、女1,476,659人)となった。

内訳は、自然動態で851人(出生2,497人、死亡1,646人)増加し、社会動態で1,322人(転入9,606人、転出8,284人)増加した。前年同月と比べると22,331人(0.76%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が18市40町村、減少が1市23町村、増減なしが4町村である。

世帯数についても11月中に、1,413世帯増加し915,632世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(11月)

1. 平均賃金の推移

11月の現金給与総額は、調査産業計で321,131円、対前年同月比7.6%増、このうち、きまって支給する給与は302,246円、対前年同月比3.7%増であった。また、このうち、所定内給与は274,812円、対前年同月比3.3%増であり、超過労働給与は27,434円、対前年同月比8.8%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比6.8%増であった。

* この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

11月の総実労働時間は、調査産業計で164.9時間、対前年同月比0.2%減であった。このうち、所定内労働時間は150.7時間、対前年同月比0.9%減、所定外労働時間は、14.2時間、対前年同月比7.6%増であった。

3. 雇用の動き

11月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.3%減であった。

■鉱工業指標<生産・出荷・在庫>(11月)

本県における平成6年11月の“鉱工業指標”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が99.4、出荷が98.7、在庫が109.7で、前月比は、生産が0.8%の低下、出荷が1.9%の低下、在庫が0.6%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が2.0%の上昇、出荷が4.0%の上昇、在庫が5.0%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、一般機械工業等が低下した。出荷では、鉄

鋼業、繊維工業、金属製品工業等が上昇し、一般機械工業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、輸送機械工業、電気機械工業等が上昇し、精密機械工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、建設財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。在庫では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、建設財、資本財等が低下した。

■消費者物価指標(11月)

平成6年11月の茨城県消費者物価指標(県平均)は、総合で107.8(平成2年=100)となり、前月比0.4%の下落、前年同月比1.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……魚介類2.7%

今月の下がった主な項目……果物16.8%，野菜・海草4.2%

%、他の光熱1.7%，穀類1.6%，保健医療用品・器具1.6%

生鮮食品を除く総合は107.8となり、前月比もちあい、前年同月比は0.4%の上昇となった。

費目別指標 (平成2年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.8	△0.4	1.2	保 健 医 療	102.8	△0.3	0.2
食 料	107.0	△1.4	2.5	交 通 信.	99.0	△0.2	△0.5
住 居	115.6	0.1	1.9	教 育	114.0	0.0	3.5
光 熱・水 道	102.6	△0.2	0.3	教 育 培 养	109.5	0.0	0.6
家 具・家 駒 用 品	99.1	△0.2	△2.7	諸 雑 費	104.7	0.3	1.5
被 裝 及 び 被 物	115.8	0.4	0.7	生鮮食品を除く総合	107.8	0.0	0.4